


10周年記念誌

# 歩み

さいたま市子ども会育成連絡協議会



目 次

巻 頭 言

★10年、なぜここに・・・さいたま市子ども会育成連絡協議会会長 小峰武久・・・1

祝 辞

★10周年をお祝いして・・・さいたま市長 清水勇人・・・2  
★10周年に向けて・・・埼玉県子ども会育成連絡協議会会長 大鹿良夫・・・3

各区の活動報告

★西区子連の10年・・・西区 栗原義晃・・・4  
★さいたま市子ども会育成連絡協議会10周年に向けて・・・北区 翠川利文・・・5  
★大宮区子ども会連合会の10年・・・大宮区 針谷浩一・・・6  
★市子連創立10周年記念を祝う・・・見沼区 吉山悟・・・7  
★中央区のあゆみ・・・中央区 望月三之・・・8  
★魅力ある子ども会を目指して・・・桜区 細井睦子・・・9  
★創立10周年を記念して・・・浦和区 帆足和之・・・10  
★南区子ども会のあゆみ・・・南区 田中ミサ子・・・11  
★緑区の10年・・・緑区 厚澤日出男・・・12  
★岩槻市子ども会の歩み・・・岩槻区 多々谷長喜・・・13

指導者から

★10年間・・・JL研修指導者 阿部浩行・・・14

10周年記念式典

★次第・・・15  
★特別講演・・・16  
★広がるさいたま市子連・・・17  
・合併までの経緯・・・17  
・10年間の主な活動・・・17  
・10区分布図・・・20  
・会の目的・・・21  
・事業・・・21  
・写真で綴る事業紹介・・・21

報告事項

★10年間の会員推移・・・23  
★かるた大会結果報告・・・24  
★平成23年度役員名簿・・・25  
★編集後記・・・26



# 10年、なぜここに

小峰武久

さいたま市子ども会育成連絡協議会会長

ひとりじゃない、みんながいるから！まさに子ども会役員の活動における希望・信念であるのではと思う。

35年有余になる役員活動、その中で何で自分の子の親でもないのに、いつまでやっているのと言われ、ささやかれた時期、子どもたちのために何かやってやろうという考えだけであつたら、もうかなり前に退いていたであろう。よく私は会議の中でもだまっていれば次の年にはやめられる、一言多かつたために今までやってしまったのだよと言う。でも、子ども会役員としての同志のみんながいるから今まで長期にわたって行動してきたのではと思う。

なりたての役員のところ、なぜ子ども会なのにおとなの役員さんが中心になって、おとながやりやすいように勝手に決めて子どもはお客様という会が多いのか、疑問を持つと同時に、何をすればいいかと思ひ、何人かの同じ考えを持つ人たちを集めて、ジュニア・リーダーの育成に着手した。はじめは少ない人数での研修だったので、毎年声をからしてJLの必要性を訴えた。1人増え、2人増えして多い年で90名を超える年もあつた。そのことが、今でも続いているJL研修の礎になっているのではと。。。。。

同時に私の子ども会役員としての役割は、地元単位会から支部をまとめる立場に、さらに副会長として2氏につかえること12年、大宮市子連の会長となり県北ブロックから県連の副会長として名を連ねるようになった。

その頃、4市1町の合併の話がなされ、先に浦和・与野・大宮の3市での合併になったことは周知の事である。

合併、それは私たち子ども会という団体にとつても、大変難しい問題が山積していた。何回会合がもたれたことであろうか。互いに旧市としての主張が強く、物別れになることが多く、歩み寄りが出来ないまま、合併とは名ばかりの旧市の各会長の名を代表として月日を重ねた。これではいけないと思ひながらの毎日、その頃増岡青少年課長の声がかかりで「1年交代で会長職を務めることを条件に、とりあえずは初代は大宮、2代が浦和、3代を与野とする」という案をだしていただき、話し合いの結果各会長が同意した。

しかし、その年の3月初に、私は体調を崩して入院する羽目になり、これで子ども会の役員人生も終わりかと覚悟を決めたが、幸いにして経過が良く退院することが出来た。

その後、新市の会長として1年、副会長として2年、再び会長として6年、その間に岩槻市が加わり、現行の10区体制になりました。

合併10年、その中で何を学び、何をなし得たであろうか？冒頭のように、子どもとおとなの間に必要とされるJLの育成、役員の研修、育成を通じて、たくさんの仲間と出会い、ふれあうことができた。これでよかったのかと。。。。。

これからは何を？と問われるかもしれないが、市、県、国に子ども会の必要性を訴え、認知させることを目指して、中には子ども会の立場を疑問視する人もいるが、市子連がしっかりと一丸となって活動していきたい。1人でも多くの会員が集い、ひとりじゃなくみんながいる子ども会となることを願ひながら。

新しく人は生まれ、そして生きる。その中で何を考え、何をやるのか、やったのか、意義のある人生にしたいと。。。。。



## 10周年をお祝いで

清水勇人  
さいたま市長

さいたま市子ども会育成連絡協議会の創立十周年、誠におめでとうございます。また、このたびその歩みを綴る記念誌が発刊されますことは大変意義深く、心からお慶び申し上げる次第です。

貴協議会の皆様には、日頃より、地域での青少年健全育成のために体験活動の実施や安全を確保する巡回活動、さらには市の青少年施策の推進において、大変ご尽力をいただいておりますことに、この場をお借りいたしまして、感謝申し上げます。

さて、昨今の有害情報の氾濫等による青少年をめぐる環境の悪化や、いじめ、不登校などの青少年の抱える問題の深刻化に伴い、家庭や学校だけでは対応できない様々な課題が生じてきております。また、未曾有の大震災に見舞われ、不安定な社会状況のなか、不安を感じている子ども達も多いと思います。

こうした課題に対処し、青少年がもう一度明るい未来への希望をもち、地域の中で健やかに成長していくためには、皆様方による地域のお力添えが是非とも必要であると考えております。

「子どもが輝く絆で結ばれたまち」の実現に向け、子ども、青少年健全育成事業に全庁を挙げて取り組んでいる本市といたしましても、青少年が自らの力で夢を実現できるように、家庭、学校そして地域の皆様との絆を大切にしながら、青少年の視点に立った取り組みを積極的に進めてまいる所存です。

最後になりましたが、今後も貴協議会の活動が益々盛んとなり、子ども達に夢を与え、様々な体験、経験の場を設けていただきながら、健やかな成長を支えていただきますようお願い申し上げます。併せて会長はじめ会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念いたしまして結びとさせていただきます。



## 10周年に向けて

大鹿良夫  
埼玉県子ども会育成連絡協議会会長

さいたま市子ども会育成連絡協議会創立 10 周年、誠におめでとうございます。この日を迎えることが出来ますのも、長年にわたりご尽力いただきました関係者の皆様の賜と、心より敬意を表するとともに厚く感謝を申し上げます。

さいたま市は浦和市、大宮市、与野市と平成 13 年に合併して誕生しました。平成 15 年には政令指定都市となり埼玉の政治、経済、文化の中心として栄えています。平成 17 年には岩槻市と合併し、現在 123 万人を超す大都市となりました。さいたま市では現在「子どもが輝く“絆”で結ばれたまち」が行政の重点として取り組まれております。基より子ども会は、地域の子どものための組織であります。子どもを通して育成者や自治会の皆様と連携し、子どもも地域も活性化する組織と考えます。さいたま市の子ども会が行政と一体となって発展することを願っております。

子どもは次代を担う「宝」です。子どもがたくましく健やかに成長するためには、大きな夢を持つことが大切です。幸い、さいたま市は彩の国 21 世紀郷土かるたに『宇宙まで 夢とどけた 若田光一』の札がありますように、若田光一さんの出身地であります。平成 21 年 3～7 月、国際宇宙ステーションに長期滞在しての活躍は記憶に新しいものです。目標となる人が身近にいることは素晴らしいと思います。異年齢の子ども会活動を通して、さいたま市の子どもたちが夢を持ちたくましく育つことを願っています。

さいたま市子連は単位子ども会の充実発展を願い、ジュニア・リーダーの育成やかるた大会を実施しております。特に、ジュニア・リーダーの養成においては初級者・中級者用のカリキュラムがしっかり出来ていて、充実した研修会を展開しています。また、平成 22 年度の第 5 回かるた大会には、さいたま市長清水勇人様のご臨席をいただけたとのこと。誠に嬉しいことです。

これから新しい時代へ進むこととなりますが、「子どもが輝く“絆”で結ばれたまち」の基となる地域の子ども会が充実することを願うとともに、さいたま市子連の益々の発展をご祈念申し上げます。

## 「西区子連の10年」

栗原義晃  
西区子ども会連合会会長

さいたま市子ども会育成連絡協議会発足10周年おめでとうございます。

西区では、他地区より5年遅れて、平成18年9月に、西区子ども会育成連合会創立総会を開くことが出来ました。

西区子ども会育成連合会（西区子連）として、何が出来るか？を考えてみると、いくつかの案が出てきました。まず、西区子連に参加してもらうことは、同時に安全会にも加入することになるので、単位子ども会が安心して事業活動を実施することができる環境を整えられる。また、ジュニアリーダーを活用して、大人の出来ないことを手伝ってもらうことによって、歓迎会・お別れ会・キャンプ・クリスマス会・さいたま郷土カルタ大会などの事業を、企画段階から参加してもらうことによって、自主的に運営してもらうことが可能になり、役員の負担をいくぶんか軽減することが出来ます。

今日の西区子連でやっている事業は、安全講習会、ソフトボール、さいたま郷土カルタなどです。ソフト、カルタはチームを作って練習をしないと、現状としては参加することは難しくなっています。そこで、指扇地区で行っている那須甲子自然の家のキャンプを西区子連でも出来ればよいなと思います。（その気になれば、一人でも参加することが可能なので）

これからも、さいたま市子ども会育成連絡協議会とともにがんばって行きたいと思っています。

### <<西区の見どころ>>



子ども会リーダー研修キャンプ



冬季キャンプでスキー体験



キャンプファイアーで火の子をやりました





翠川利文  
北区子ども会連合会会長

北子連の会長をうけてから 1 年経ちました。16 年 6 月に北子連の規約が出来てまだ 5 年たらずです。前 5 年は大宮子ども会連盟の中の日進支部として活動してきましたが 10 年間のことについて述べます。

北子連は、旧大宮市こ連の宮原支部・大砂土植竹支部・日進支部の 3 支部で構成する予定でした。宮原支部は 16 年度以前に解散してしまい残り大砂土植竹支部 1 単位子ども会・日進支部 8 単位子ども会の計 9 単位子ども会で発足しました。

旧大宮市こ連は各公民館単位が支部でしたので地域密着でいろいろと会議など近隣でおこなわれていましたが、さいたま市こ連の会議など範囲が広がりました。

私は、平成 2 年度から日進支部長をしていました。日進支部には体育（ソフトボール・ミニバス・ポートボール）が盛んで、指導者が毎年多数子ども達に指導していただけたので球技のチーム数は 23 年度現在ソフトボール 6 チーム・ミニバス 4 チームが登録しています。

球技大会は、北子連主催夏季大会、西区・北区育成会主催ソフトボール大会、大宮北ライオンズクラブ主催の球技大会、日進支部主催卒業記念球技大会など実施しています。

球技大会には、西区宮前子ども会のミニバス・ポートボールのチームが参加しています。

西区にはミニバスのチームが少ないのと区政が無い頃は日進支部の会員であり学校区も宮前小学校は北区からも多くの子どもが通学しています

春の運動会は、日進支部主催・日進地区体育振興会後援で平成 22 年度から実施しています。球技をしない子ども達にグラウンドで思いきり走るなどしてもらいたいと思い実施しました。

秋の運動会は、北子連主催・日進体育振興会後援で平成 20 年度から実施しています。日進体育振興会の皆様には春・秋とも各競技の審判を依頼しています。

球技大会・運動会には大砂土植竹支部本郷子ども会には今年こそ参加をお厳しています。

伝統文化的なことは、21 世紀さいたま郷土かるた大会を実施しております。

各単位子ども会は、全学年・低学年とも団体・個人 2~6 チームが出場し予選リーグで上位 1~2 位による決勝トーナメントで順位を決めます。上位 1~4 位は、市子連大会に出場しています。市子連大会では低学年の出場を毎年おねがいしたい。

旧大宮市こ連最盛期には日進支部は、14 単位子ども会がありました。球技はソフトボール 13 チーム・ミニバス（以前はポートボール）12 チームでした。

指導者がやめてチームがなくなると支部から脱退してしまう子ども会があります。

区・支部役員は、いろいろと忙しい。魅力ある北子連にするには？イイ知恵ないかね。





## 大宮区子ども会連合会の10年

針谷浩一

大宮区子ども会連合会会長

さいたま市子ども会育成連絡協議会が発足10周年を迎えられたことに対して、お慶び申し上げます。

平成13年1月25日に官報告示され、浦和市・与野市・大宮市の三市が合併して、さいたま市になることが公式に認められ、5月1日にさいたま市が生まれました。発足10周年の記念式典が平成23年5月1日に行われるのは、こうした経緯があるからです。その後、平成15年4月1日に県と同格の権限を持つ政令指定都市に移行することとなり、浦和・南・緑・桜・中央・北・西・大宮・見沼の9行政区が発足いたしました。しかし、合併の過程で浦和市と大宮市とが行政の主導権を巡ってギクシャクしていたこともあって、直ちに各区での子ども会の自主的活動が始まったわけではありませんでした。平成17年1月26日に官報告示があり、岩槻市がさいたま市に合併することが本決まりとなり、4月1日に岩槻区が発足して、現行の10区体制が築られました。

大宮区子ども会連合会が発声したのは、平成18年4月23日にさいたま市立三橋公民館を会場にして開かれた、「大宮子ども会連盟三橋支部」定期総会の場でした。この総会の開催目的は二つあり、ひとつが三橋支部の解散で、もうひとつが大宮区子ども会連合会の設立でした。

三橋支部が属していた大宮子ども会連盟は、昭和22年7月に設立された団体で、公民館を基準として支部が設けられていました。最盛期には、南・中部・東・北・大砂土・植竹・宮原・大砂土東・片柳・七里・春岡・桜木・三橋・大成・日進・指扇・馬宮・植水に支部がありましたが、平成18年の時点では大砂土植竹・大砂土東・片柳・七里・春岡・三橋・日進・指扇・植水の9支部のみになっていました。この9支部の中で大宮区に該当していたのが、三橋支部だったので、自動的に単位子ども会が3つしかない三橋支部が大宮区の子どもの会を代表することになったのです。

私が子ども会活動に初めて関与したのは、平成12年度ですが、その時点では三橋支部にも7つの単位子ども会が活動しており、大成支部も精力的な活動をしていました。大宮子ども会連盟の初代大宮区代表は大成支部出身の武井副会長でしたが、体調不良により辞任されてからは、私が二代目の区代表を継ぎました。

7つの単位子ども会が3つに減ってしまったのには理由があり、夏に開催されていた親善球技大会にソフトやポートのチームを持っていない単位子ども会にも人的応援が課されたために、その結果として負担が重すぎるということで、子ども会自体が解散したり脱会が相次いだためでした。

平成18年度の大宮区子ども会連合会の発足に当たって、運営に関する3つの基本方針を定めました。

「①原則として、日常の事業については、単位子ども会が実施するものとして、大宮区子連は各単位子ども会の連絡調整と事業実施への助言をする程度にします。②大宮区子連は、育成者の負担を考慮して、育成者が自ら指導者や講師になったり、育成者だけがお膳立てをして子どもがお客様として参加したりすることは実施しません。報償費を効果的に使って、外部講師を呼ぶことによって、育成者自身が『子ども会の役員になって良かった』と言えるような活動をします。③ソフトボール大会や手作り体験教室は大宮区子連独自の事業として、毎年実施していきます。」

実際には、9名の役員と3単位子ども会育成会会長が分担して、事業を実施しています。平成19年から11月に三橋小学校を会場にして三橋フェスタが開かれるようになり、大宮区子連では大道芸のコーナーを設けて、毎回芸人さんを呼んで至芸を子どもたちに見てもらっています。7月にはソフトボール大会を開催して、1位と2位のチームにはトロフィーが授与されています。手作り体験教室は主に冬季に開かれており、平成19年からは毎年12月に岩槻区の森田由美子さんを講師として干支の木目込人形を一巡するまではと続けています。そのほか、越生団扇作りでは島野博行さんを講師に迎え、折り紙の雛人形作りでは第一人者の岡村昌夫さんの指導を得ました。思川の流し雛作りでは下野人形の家元である諏訪ちひろさんに小山市からおいでいただき、麦わらを使ったクリスマス飾り作りでは、姫路市の日本玩具博物館の尾崎織女さんに教えてもらいました。多くの方々の協力を得ながら、これからも楽しく事業を進めていこうと思っています。





# 市子連創立10周年記念のあゆみ

吉山悟  
見沼区子ども会連合会会長

謹んで東日本大震災のお見舞いを申し上げます。

さいたま市子ども会育成連絡協議会の創立10周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

さて、さいたま市が政令都市になり、見沼区子ども会も四支部が連合会として、平成18年6月に発足以来5年が経過し、当然ながら子ども会活動は、本来単位子ども会が主体ですが、球技大会、かるた大会、文化部事業、安全講習会、ジュニア・リーダーの育成等について、子ども会活動の効率化を図るため、皆様のご理解とご協力により連合会の事業活動として行っています。

また、社会情勢が目まぐるしく多様化し、当面する課題もありますが、これからもスケールメリットが期待できる事業を、積極的に企画していきたいと思えます。

最後に、さいたま市子ども会育成連絡協議会のさらなるご発展をご祈念申し上げ、お祝いのことばとさせていただきます。



「バスツアー」ポテロンの森でお菓子作り



大宮鉄道博物館見学会



さぎ山記念公園（デイキャンプ）



ビーズ講習会

さいたま市見沼区子ども会連合会のあゆみ	
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設立総会 ・ ポートボール中央大会 ・ かるた抽選会&amp;審判講習会</li> <li>・ 見沼区かるた大会 ・ 「体験学習」防災センター&amp;南部浄化センター</li> </ul>
平成19年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二回総会 ・ 安全講習会（AED）</li> <li>・ 「バスツアー」ポテロンの森&amp;つくばエキスポセンター</li> <li>・ かるた抽選会&amp;審判講習会 ・ 見沼区子連かるた大会</li> </ul>
平成20年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三回総会 ・ 安全講習会（AED） ・ 親善球技大会</li> <li>・ かるた抽選会&amp;審判講習会 ・ 見沼区子連かるた大会</li> <li>・ お別れ球技大会 ・ 鉄道博物館見学会</li> </ul>
平成21年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第四回総会 ・ 安全講習会（AED） ・ 親善球技大会</li> <li>・ さぎ山記念公園&amp;青少年野外活動センター（デイキャンプ）</li> <li>・ かるた抽選会&amp;審判講習会 ・ 見沼区子連かるた大会</li> <li>・ スポーツかるた大会 ・ お別れ球技大会</li> </ul>
平成22年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第五回総会 ・ 安全講習会（KYT） ・ 親善球技大会</li> <li>・ ビーズ講習会 ・ かるた抽選会&amp;審判講習会 ・ 見沼区子連かるた大会</li> <li>・ お別れ球技大会</li> </ul>